

【大友親重軍勢催促状写】

おおもちかしげぐんぜいさいそくじょううつし

（端裏書）

「上包紙在_レ之、若林弾正忠とのへ 親重」

（端裏付箋）

「此御書一尺屋若林忠左衛門方にて紛失候哉、

忠左衛門方へ見_レ之不_レ申候、

正徳二年壬辰年八月廿九日」

当所おゐて用段候之間申候、

此状到来候者、不_レ移_レ時可_レ被_ニ馳

越_一候、如_ニ日来_一御ゆたん_{（油断）}申ましく候、

長々御堪忍事共御痛敷候へ共、

さりとてハ此時一味同心ほん_{（奔走）}そう_ニ

あ_{（預）}つかり候_ハて者、不_レ可_レ叶候存候、

早々被_ニ馳越_一者喜入候、恐々

謹言、

（永享八年カ）

二月八日

（一四三六）

（大友）

親重 御判

若林弾正忠とのへ